

犯罪情報官 速報

平成30年中

特殊詐欺の被害

【全国】

【県内】

約357億円

約3億5千万円

～全国で1日あたり、約1億円の被害が発生～

県内で最も被害の多かった手口は、架空請求詐欺で、携帯電話に有料サイトなどの料金を請求するメールを送りつけ、コンビニの電子マネーで支払わせるものです。

若者を含む、幅広い世代の方が被害にあっていますので、注意しましょう。



被害にあわないために

犯人がよく使う言葉を知っておこう！

有料サイトの未納がある

あなたに〇〇権がある

個人情報が漏れている

名義貸しは犯罪だ

裁判になる・逮捕される

財産を没収する

キャッシュカードを預かる

お金を宅配便で送って

コンビニの電子マネーで支払って

あとで返金する



- 「お金」の話は、必ず誰かに相談しましょう。
- 不審な電話は、110番又は最寄りの警察署へ。

平成28年～平成32年
「めざそう！
安全・安心・日本一」
ひろしまアクション・プラン

運動目標

県民だれもが穏やかに幸せな暮らしを実感できる
日本一安全・安心な広島県の実現

重点項目

- 身近な犯罪被害の抑止
- 子供・女性・高齢者等の安全確保
- 新たな犯罪脅威への対応

なくそう特殊詐欺被害

アンダー
5 ↓
作戦

※ この情報を、掲示・回覧・チラシ配布・朝礼・口コミ等で広報していただきますようお願いいたします。